
月下落涙

天狗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

月下落涙

【Nコード】

N8768V

【作者名】

天狗

【あらすじ】

魂を切り裂くような叫び。

心から搾り出す涙。

月だけが全てを知る。

暗い部屋に子供の泣き声がとけていく。

「良い子になるからっ！」

聞く者の心を切り裂くような叫びは誰に届く事もなく。

「ここから出してっ！」

地を打つ雨音が一際大きくなり、全てを覆い隠そうとする。

幼子はどんな罪を犯したのだろうか。

幼子を罰したのは誰なんだろうか。

罪と罰は正しいのだろうか。

刻は巡り、日は暮れ、闇が忍び寄る。

幼子は疲れ果て、眠りにつく。

その目に涙を湛えたまま。

雨は止み、風が吹く。

闇よりなお黒い雲に光が奔る。

天の隙間から差し出される月の欠片^{すそひ}。

窓から部屋に入り幼子を照らす。

幼子の心を癒すかのように。

幼子を祝福するかのように。

月がまた隠れる、その微かな時間。

幼子だけが月の寵愛の全てを受ける。

淡く儚い愛なれど。
誰にも気付かれる事の無い愛なれど。
確かに其処に在る。

幼子は夢を見る。
楽しい夢を。

目が覚めた時、涙の重さは今日より軽くなっているだろう。
それは月の恩寵か。

月は語らず。

今も変わらず天そらに在る。
今は夜に生きる全てを照らしながら。
眠りにつく全てを見守りながら。

幼子が大人になり月を見上げる時。
月に何を思っただろうか。

願わくば。

月と同じ思いでありますように。

願わくば。

哀しさではありませんように。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8768v/>

月下落涙

2011年10月9日14時17分発行